

羽村市史編さんだより

第2号
平成27年
7月

伸びゆくはむら



News

羽村郷土研究会と懇談しました

4月24日（金）、市役所で、羽村郷土研究会の役員と羽村市史編さん部会部会長の懇談会を行いました。

懇談会では、事務局から市史編さん事業の概要を説明し、その後、意見交換を行いました。

郷土研究会からは、市史編さん事業にあたっての提案や意見をいただき、市史編さん部会からは、郷土研究会へ編さん事業への協力をお願いしました。



▲懇談会の様子（郷土研究会役員の皆さん）

始まっています！市史編さんのための調査

平成27年度に入り、各部会の調査活動が始まっています。自然や文化財、人々の生活、現代への移り変わり、関係する自治体の史料などを詳しく調べることで、羽村の歴史が見えてきます。

これまでに、市内の気温観測や緑地の植生調査、地形の成り立ちを調べるための調査などを行いました。

調査は、夜間や土・日曜日、祝日に行うこともあります。ご理解とご協力をお願いします。

※調査は、各権利者の許可を得て行っています。

※調査員は、調査証を携帯しています。



▲羽村西小学校への温度計設置の様子

—あなたの思い出が羽村の歴史になる— 聞かせてください！「羽村の昔」

地域に伝わる習俗（衣食住・冠婚葬祭・年中行事など）や伝承（子供の遊びなど）について、市内各地区をまわり、聞き取り調査を行います。ぜひ、皆さんのお話を聞かせてください。ご協力をお願いします。

※詳しくは、広報はむら8月1日号または市公式サイトをご覧ください。



部会の手帖



それぞれの活動をスタートさせた部会の様子を紹介します。

Q 用語の解説

巡見…あちらこちらを回りながら、様子を
確認していくこと

資料…研究・調査・分析の基礎となる材料
史料…文献・遺物など歴史を考察するための
素材

第1部会 ～原始・古代・中世～

現在、縄文班と中世班の2班に分かれて活動
しています。

縄文班は、羽村市郷土博物館に収蔵される縄
文時代の土器や石器の確認を行いました。今
後、これらの資料を最新の研究成果を基に再整
理していきます。

中世班は、過去に行われた石造物調査のデー
タを基に、市内の寺院や墓地などで中世石造物
の所在を確認しました。今後、石造物に刻まれ
た文字などを写し取る拓本作業を行います。



▲石造物の所在確認調査の様子

第2部会 ～近世～

4月から本格的な活動がスタートした第2部
会は、各部会員が本編・資料編の執筆に向けて、
市内にどのような資料が残されているかを確認
する作業を進めています。

また、市内の寺社や青梅線より西側地域の巡
見を行い、市内の地理的環境について理解を深
めました。

これらの作業と並行し、今後実施する予定の
市内調査の準備や、市外の関係各所に残されて
いる羽村に関する情報の収集を行っています。



▲市内巡見の様子（阿蘇神社）

第3部会 ～近代・現代～

昨年度から引き続き、資料編「近現代写真図録編（仮）」の刊行に向けた資料の選定のため、市役所内で保管している写真の整理を行っています。

また、写真整理作業と並行して、羽村市について書かれた新聞記事を拾い出し、データベース化の作業を行ったり、古い行政文書や近隣市史などの資料から、執筆作業に向けた情報収集を行ったりしています。



▲資料閲覧の様子

第4部会 ～自然～

第4部会は地形・地質班、気候班、生態班の3班に分かれて活動しています。

地形・地質班は、地形の成立ちを調べるために、市内11か所で土砂の試料採取を行いました。古い地層の土砂を分析することで、その地層の年代を調べることができます。

気候班は、市内全域で気温の移動観測と風向・風速の定点観測などを行いました。

生態班は、新緑の美しい時期に多摩川や緑地の植生調査を行いました。



▲気温の移動観測の様子

第5部会 ～民俗～

4月から本格的な活動がスタートし、市内の街並みや寺社などの巡見、羽村市郷土博物館に収蔵される民具の確認を行いました。

また、羽村郷土研究会の会員との懇談を行い、過去に行われた民俗調査などについて、話を伺いました。

民具などの「物」資料とともに、伝承や記憶も重要な資料となります。今後、羽村の習俗や昔の暮らしなどについて、幅広く聞き取り調査を行っていきます。



▲市内巡見の様子（まいまいず井戸）

市史編さんの足あと

月	日	できごと	月	日	できごと
4月	1日(水)	第4部会 市内調査	5月	21日(木)	第5部会 郷土博物館収蔵資料確認、羽村郷土研究会会員との懇談
	7日(火)	第4部会 近隣市調査		22日(金)	教育委員会定例会説明
	15日(水)	羽村市史編さんだより 伸びゆくはむら創刊号発行		29日(金)	第1部会 郷土博物館収蔵資料確認
	24日(金)	羽村郷土研究会役員と市史編さん部会部会長懇談会		30日(土)	第4部会 夜間調査(土砂採取)
5月	1日(金)	第6回羽村市史編さん本部会議	6月	1日(月)	第1部会 石造物の所在確認調査 第4部会 夜間調査(土砂採取)
	6日(水)	第2部会 市内巡見		6日(土)	第5部会 市内巡見
	11日(月)	第4部会 羽村郷土研究会会員との懇談		7日(日)	第4部会 緑地の植生調査
	12日(火)	川崎地区石蔵内資料調査事前訪問		17日(水)	行政連絡委員会説明
	13日(水)	第4部会 夜間調査(土砂採取)		18日(木)	官公署等連絡協議会説明
	17日(日)	第4部会 気温の移動観測・風向風速の観測、多摩川の植生調査		25日(木)	第4部会 市内調査
	19日(火)	第1部会 石造物の所在確認調査		26日(金)	第4部会 市内小学校(3校)の気温観測データの回収

コラム

ちっとなべえ

夏に向かう暑さとともに、市史編さん事業も慌しくなってきました。完成に向けて一步一步進んでいますが、まだまだ先は長いです。

さて、皆さんは、ご自分の住む地区の名称(地名)が、いつから使われているものかご存じですか？

地名は、住所の中だけではなく、町内会名や道の名前としても使われ、時にそれらは古くから使われているものであったり、そこに暮らす人々の中での通称であったりします。そして、残る地名もあれば、使われなくなり忘れられていく地名も多くあります。

市内の「緑ヶ丘」という地名も、少し前までは「武蔵野」、もっと前では「分野(ぶんの)」と呼ばれていたようです。もしかすると、他にも呼び名があったのかもしれない。

歴史を身近に感じるために、「どこで」という情報は欠かせません。「〇〇と言う場所で△△があった」と書かれていても、「〇〇」が現在のど

第2回 残る地名 変わりゆく地名

こに当たるのかがわからなければ、ピンときませんよね。

「ここにこんな物があった」、「あそこであんな事があった」と知っていただき、皆さんに羽村の歴史への親近感を持っていただければと思っています。そのために、今後も地名の調査を続けていきますのでご期待ください。(K.K記)



▲地名の残る間坂街道

※「ちっとなべえ」とは、羽村の昔ことばで「ちょっと、少しばかり」という意味です。